岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川　瀬野川水系　瀬野川支川１７　外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	№3(瀬野川17)	調査位置	広島県広島市安芸区中野三丁目	北緯	34° 24' 12.7917"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 2月22日～ 令和3年 2月23日	東経	132° 34' 06.1463"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 127.50m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	7.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機DO型
				エンジン	ヤンマーディゼルNFD-9K
				ポンプ	東邦地下工機BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
1	126.50	1.00		礫混りシルト質砂	茶褐							0[0](100)	・崩積土 ・φ2～5mm大の礫を微量混入 ・細粒分を多く混入 ・砂は細～中砂主体	
2				強風化花崗岩	茶褐～褐	w5	h2	E	VI	d	D	0[0](100)	・砂～礫状のコアとなる ・指圧で砂質土状に砕ける	
3												0[0](100)		2/23 3.40
4	123.50	4.00										0[0](100)		
5				風化花崗岩	淡褐	w4	h1	D	IV	c	D	0[0](100) 15[15](100)	・極硬質なマサ状コアとなる ・ハンマー打撃で土砂状に砕ける ・粘土化が弱くなり、礫などが硬質なまま残留している	
6	121.70	5.80		花崗岩	灰	w3		C	III	b	CM	30[88](100)	・柱状コアを呈する ・全体にやや軟質で脆い ・ハンマー打撃で岩塊状に砕ける ・亀裂面の岩化がみられる	
7	120.50	7.00												
8														
9														
10														
11														
12														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	3 / 330		
	1.48			
44	2.15	44 / 300		
	2.45			
30	3.15	30 / 300		
	3.45			
50以上	4.00	50 / 210	210	
	4.21			
50以上	5.00	50 / 70	70	
	5.07			
50以上	6.00	貫入不能		
50以上	7.00	貫入不能		

深度－N値図

原位置試験

室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
2/22	1800	75/ケーシング	S/MC	0	30	0	W10	0
	1800							
	480		SW/MC	0	80	0	W38	8
	180		HW/DB	0	160	0	W35	5
	480		SW/MC	0	80	0	W38	8
	240		HW/DB	0	160	0	W35	5
2/23	240	66	HW/DB	0	160	0	W35	0
	240							
	240							